

1 ICT活用のポイント

- 言語活動を通して身に付けさせたい資質・能力を育成する観点から、言語活動の中でICTを効果的に活用する場面を設定する。
- 各領域における学習過程において、児童生徒が主体的に情報と関わりながら学習を進めたり、情報を発信・伝達して互いの考えを共有し、深めたり、学んだことを蓄積し活用したりするための学習ツールとして活用する。

〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域における学習過程を踏まえて、ICTの効果的な活用場面を考えましょう。（例）自分の考えを深める場面、考えたことを表現・共有する場面

2 実際の活用例

- ・自分の考えを深める場面で、ホワイトボードソフトの付箋機能を使って観点ごとに考えを整理・分類する。
- ・考えを共有する場面で、共同編集した資料を提示し、それぞれの考えを比較・検討する。
- ・自分の考えやグループの考えを文章でまとめる場面で、文書作成ソフトや表計算ソフト等を用いて記述し、共有する。
- ・考えを共有する場面で、個人で作成したスライド資料を提示し、コメント機能を用いて交流を行い、他者の意見を参考にして考えを深める。



3 実践事例の紹介

【小学校・6年・国語・「やまなし」】

育成を目指す資質・能力

C2（協働での意見整理）

C-エ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の工夫を考えたりすることができる。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 ホワイトボードソフト

ホワイトボードソフトの付箋機能を活用し、「やまなし」の二つの幻灯を対比することで、作品の世界観を捉えることができる。

学習の流れ

「かわせみ」と「やまなし」を対比するために、観点ごとに付箋でまとめる。

「かわせみ」と「やまなし」を比較する。

五月と十二月、それぞれの幻灯がどんな世界なのかを考える。

全体で共有し、自分の学びを振り返る。

事例の概要

本実践は、文学的文章を読み、作品の世界観に関する自分の考えをまとめることを言語活動として設定した事例である。

作品の世界観を捉える手立てとして、ホワイトボードソフトの付箋機能を活用し、作品の中に登場する「かわせみ」（五月）と「やまなし」（十二月）を対比した。それぞれの児童がどちらかを選んで付箋を使って考えをまとめた後、全体用のホワイトボードソフトにそれぞれの考えを貼り付け、前方の2つの大型テレビを使って、「かわせみ」と「やまなし」の世界観を対比させた。その際、観点（谷川の様子、かにの様子、色や動き）ごとに付箋の色を分けることで、視覚的にも対比が容易になった。

児童は友達の考えも参考にしながら、「かわせみ」と「やまなし」がそれぞれどのようなものかについて改めて深く考え、それを基に2つの幻灯の世界観について、自分の言葉で表現することができた。

【中学校・1年・国語・「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」】

育成を目指す資質・能力

C2（協働での意見整理）

C-エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 表計算ソフト

文章の修正が何度でも可能であることを生かし、小集団毎に協働しながら考えを深めることができる。

学習の流れ

一斉指導で本文の内容等を読解する。

グループで分担を決め、個人で記事をまとめる。

個人でまとめた記事をグループでまとめながら、新聞を作成する。

新聞を全体で共有し、自分の学びを振り返る。

事例の概要

本実践は、説明的な文章を読み、考えたことを文章にまとめることを言語活動に設定した事例である。

学習のまとめとして作成する新聞を共同編集できるように表計算ソフトで作成した。新聞の内容は「本文の内容のまとめ」「文章の論の展開の特徴」「説得力のある文章を書くために生かせること」の3つとした。

・グループで記事の分担を決め、前時までの学習を通して考えた内容を個人で表計算ソフトにまとめる。

・個人でまとめた記事を表計算ソフトにコピーして、グループの仲間と対話しながら、新聞を作成する。

*他グループの新聞を閲覧し、参考にしてもよいこととする。

◎1人1台端末上で新聞を作成することで、対話しながら加除修正したい場合、すぐに修正することができ、記述時間を短縮し、対話の内容を充実させることができた。（生徒の書くことへの苦手意識の軽減）

◎表計算ソフトの閲覧が容易であるため、他のグループの作業を参考にでき、内容を充実させることができた。

Webサイトには、上記の実践以外に、次の事例も掲載しています。

○小学校3年・・・文書作成ソフトを用いて考えを表現・共有する実践

○中学校1年・・・個人で作成したスライド資料を共有し、コメント機能を用いて考えを深める実践

